

池上弘祥 長野県老人クラブ連合会長 あいさつ

本日、ここ松本市において、県下各地から大勢の皆さんの御参加をいただき「第57回 長野県老人クラブ大会」が開催できましたことに対し、まずもって感謝を申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、大変お忙しい中、ご臨席を賜りありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

さて、長野県人口の約3割が高齢者となり、人生90年時代を迎えた今日高齢者が、健康で、仲間と支え合いながら地域づくりを進めていくことが求められており、こうした活動を、半世紀以上にわたり推進してきたのが、私たち老人クラブの存在であります。

ご案内のとおり、長野県老人クラブ連合会は、全国に先がけ、昭和35年に設立されて以来、高齢者の生きがいと健康づくり、住みよい地域づくりを実現するため、「健康、友愛、奉仕」の全国三大運動をはじめ幅広い地域活動に取り組んでまいりました。

長年にわたり先人たちが築いてきた活動は、各地域で多大な成果をあげ、地域に根づいた活動として今日まで受け継がれております。

今後、老人クラブに対する期待は、益々大きくなってきておりますが、私は、こうした高齢者や地域の期待に十分応えていくためには、現在老人クラブが抱えている大きな課題を、まず、解決していかなければならないと思っています。

その大きな課題とは、私たちの仲間である会員数の減少であります。

会員数の減少は、長野県だけではなく全国老人クラブの共通の課題であり、全国老人クラブ連合会では、会員数を増強するため、平成26年度から「全国100万人会員増強運動」を実施し、長野県では5年間で2万人会員を増強すべく進めているところであります。

新たな仲間呼びかけ、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり、地域づくりを県下の各連合会で実施しております。それには、老人クラブが、地域のニーズに的確に対応できる組織でなければならず、半世紀以上にわたり、先人たちが築いてきた諸々の活動を更に前進させたいものであります。

私たち一人ひとりが、老人クラブ活動に自信と誇りを持ち、仲間づくりの輪を広げ、高齢者や地域の期待に応えていきたいものと思います。

本日は、長年にわたり老人クラブの育成・発展にご尽力された皆様の表彰を申し上げ、「私の主張」は、松本市在住の野溝勇さんから「若い役員と共に」と題して発表いただきます。そして、松本大学助手の水野尚子さんから、「健康寿命延伸を目指した食生活」と題して講演いただきます。

どうぞ有意義な日にしていただきたいと思います。

終わりに、本日受賞された皆様方に対し、心からお祝いを申し上げます、今後のさらなるご活躍を祈念すると共に、本大会の開催地として、受け入れの準備等ご協力いただきました松本市高齢者クラブ連合会と関係の皆様方に感謝申し上げます挨拶といたします。

平成28年10月21日

一般財団法人 長野県老人クラブ連合会
会 長 池 上 弘 祥